

町田市議会議員



おんじょう^{よし ひさ}由久

公明党町田総支部 幹事長・中小企業対策部長

プロフィール 昭和37年、群馬県生まれ。東洋大学経済学部経済学科を卒業後、日本電気株式会社に勤務。平成30年に町田市議会初当選。妻と娘2人の4人家族。モットーは「どこまでも誠実に。いかなる時も情熱と信念で」。南成瀬在住。



初当選から8年で

週1ペース!!

地域の身近な実績は**300**以上!

おんじょう
1分動画 ▶
はこちら



すぐやる!“おんじょう”

実績

Wi-Fi 設備を小・中学校やコミュニティセンターなどに拡充!

小・中学校の学習環境を整備するために Wi-Fi 設備を校内中どこでも使えるように拡充しました。さらに体育館に設置された Wi-Fi 設備は災害時に避難者の“安心”を支えます。また、自宅以外での学習支援を目的に地域センターなどにも設置され、市民の“学びの機会”を支えます。



政策

インフルエンザから子どもたちを守ります!

2025年12月議会では、1回に4000円必要な小児インフルエンザの予防接種（生後6カ月から12歳までは原則2回）の助成を都の補助制度を活用して実施すべきと訴え、市から前向きな答弁を引き出しました。猛威を振るう感染症から子どもたちを守ります。



政策

行かない! 書かない! 「行政手続き」の実現へ

バーチャル町田市役所  まちドア を大きく進化!

現在、市の行政手続きの一部は「まちドア」からオンラインで申請や届出が可能です。オンライン化をさらに進め、市役所に“行かない”“書かない”を実現します。さらに、オンライン化によって業務の効率化を進め、窓口での対応を手厚くすることで“書かない窓口”を目指します。

ネットワークを生かした公明党の物価高対策

「即効性」「中間所得層まで」の支援を

町田市

2025年12月8日に石阪市長に緊急要望。重点支援地方交付金を活用し、食料品高騰の負担を軽減するために、即効性があり、中間所得層まで行き渡る支援策を要望しました。

東京都

●東京アプリ生活応援事業 1~3月に開始予定

15歳以上の都民が「東京アプリ」を活用し、11,000円相当のポイントがもらえます。都議会公明党の推進で実現へ！

取得方法

①東京アプリをダウンロード



②マイナンバーカードで本人認証



全国

●1~3月の電気・ガス代補助 一家庭あたり約3,000円負担減

●ガソリン税の暫定税率廃止 1ℓ約15円安く

●「年収の壁」の見直し 一人約2~4万円の所得税減税

●児童手当の増額 子ども一人あたり2万円の「応援手当」



公明党町田総支部の主な政策



子育て・教育支援

0円子育て

- 幼稚園、保育園の給食費を無償化
- 学校の教材費や学用品、行事費を無償化
- 小児インフルエンザ予防接種の公費助成

「小1の壁」解消へ

共働き世帯の親が、小学校入学後の始業前などの預け先に困る「小1の壁」を解消します。



医療・福祉、高齢者支援

シルバーパスを都外でも

公明党の提案により、12,000円に引き下がったシルバーパス。さらに都外へ越境する区間でも利用できるよう環境整備を進めます。

がん検診の費用軽減

病気を未然に防ぎ、医療費を抑制するため、成人健診や歯科検診の受診率向上を推進。さらに、がん健診の費用を軽減します。

魅力ある街づくりへ

デジタル地域通貨で経済対策

市内限定のデジタル地域通貨（キャッシュレス決済）を発行し、給付金の活用などで市内経済を活性化させます。

感震ブレーカー設置補助

地震による通電火災を防ぐ「感震ブレーカー」の設置補助を市内全域に拡大します。

